

緑地面積の算定表

区 分	高 木	低 木	生 垣
1本当りの緑地面積 (枝張り)	10㎡ (直径3.6m)	1㎡ (直径1.2m)	0.6㎡/m (幅0.6m)

留意事項

- 高木とは成木時の樹高が3.0m以上であり、植栽時に概ね2m以上の樹高のものをいう。
- 低木とは成木時の樹高が3.0m未満のものをいう。

【参考資料】

山梨県緑化計画から抜粋

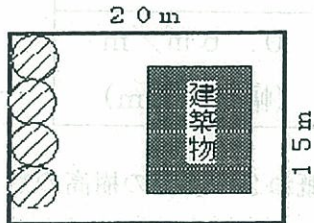
高 木	温 暖 帯	シラカシ、アラカシ、ウラジロガシ、ヤブツバキ(園芸種多数)、ユズリハ
	中 間 温 暖 帯	アカマツ、ヒノキ(園芸種多数)、スギ(ダイスギ、ムレスギ)、サワラ(園芸種多数)、ヒメコマツ(シコクゴヨウ)、ビャクシン(ハイビャクシン、ミヤマビャクシン)、イヌシデ、アカシデ、クマシデ、サワシバ、ハシバミ、ツノハシバミ、クヌギ、コナラ、クリ、ケヤキ、エノキ、マンサク、ヤマザクラ(園芸種多数)、エドヒガン(園芸種多数)、ウワミズザクラ、ヤマナシ(長十郎、幸水等)、アオナシ(20世紀)、ズミ、カマツカ、ネムノキ、イロハモミジ(イロハカエデ=県の木・園芸種多数)、オオモミジ(園芸種多数)、ウリハダカエデ(初雪楓)、ウリカエデ、メグスリノキ、ソヨゴ、ナツツバキ、ヒメシャラ、ミズキ、ヤマボウシ、エゴノキ
	冷 温 帯	イチイ(キャラボク)、ウラジロモミ、キタゴヨウ、カラマツ、シラカバ、ミズメ、ハルニレ、オヒョウ、ブナ、ミズナラ、カシワ、カツラ、コブシ、ホオノキ、アズキナシ、イヌエンジュ、アオハダ、ハウチワカエデ、コハウチワカエデ、イタヤカエデ、トチノキ、ヒコサンヒメシャラ、ハシドイ
低 木	温 暖 帯	アオキ(園芸種多数)、ナンテン、ガクウツギ、ヒサカキ、ミヤマシキミ、ユキヤナギ、ヤブデマリ(オオデマリ)
	中 間 温 暖 帯	クロモジ、ダンコウバイ、ヤマアジサイ(園芸種多数)、ウツギ、バイカウツギ、ノイバラ(園芸種多数)、サンショウバラ、ヤマブキ、シモツケ、フジザクラ(県の花・園芸多数)ハギ類:キハギ、ヤマハギ、マルバハギ(園芸種多数)、ウメモドキ、ニシキギ、ツリバナ、ミツバツツジ、ヤマツツジ、ムラサキシキブ、ニシキウツギ、ガマズミ、
	冷 温 帯	ノリウツギ、アイズシモツケ、マユミ、レンゲツツジ、サラサドウダン、アズマシャクナゲ、リョウブ、ハクウンボク、カンボク

新市街地等における良好な環境整備のための風致地区の活用方策検討調査報告書
「植栽基盤整備技術マニュアル」(財)日本緑化センターを参考

平成16年4月1日作成

ケース1

造成された土地に新築する場合



敷地面積(A3)=300m²

A1 = 0m²

A2 = 10m² × 4本 = 40m²

A3 = 300m²

(A1+A2)/A3=(0+40)/300=0.13 > 0.1 (OK)



木竹を保全する土地 (A1)
実測値



植栽を行うとする土地 (A2)

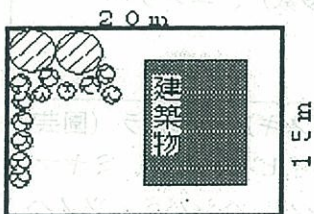
高木1本あたり 10m² 直径3.6m

低木1本あたり 1m² 直径1.2m

生け垣1mあたり 0.6m²

ケース2

造成された土地に新築する場合



A1 = 1.0m² × 12本 = 12.0m²

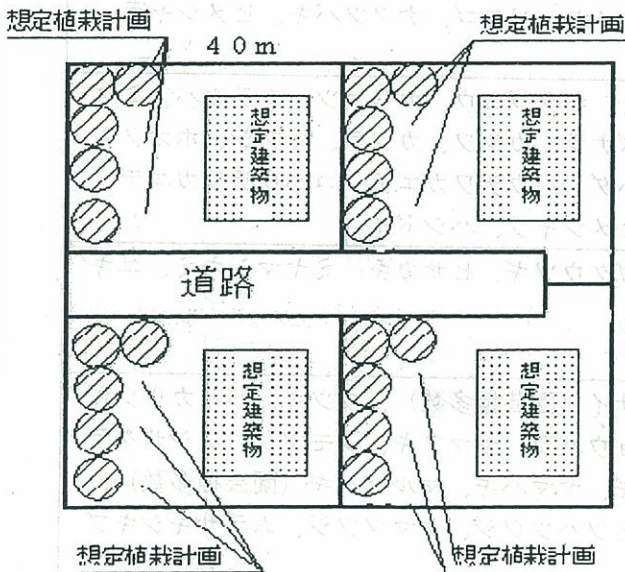
A2 = 10m² × 2本 = 20m²

A3 = 300m²

(A1+A2)/A3=(12.0+20)/300=0.11 > 0.1 (OK)

ケース3の1

宅地の造成を行う場合(分譲地)



A1 = 0m²

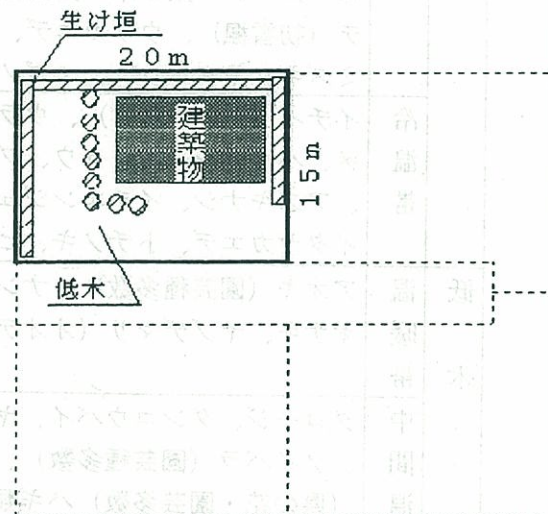
A2 = 10m² × 20本 = 200m²

A3 = 1400m²

(A1+A2)/A3=(0+200)/1400=0.14 > 0.1 (OK)

ケース3の2

造成された宅地に新築する場合



A1 = 0m²

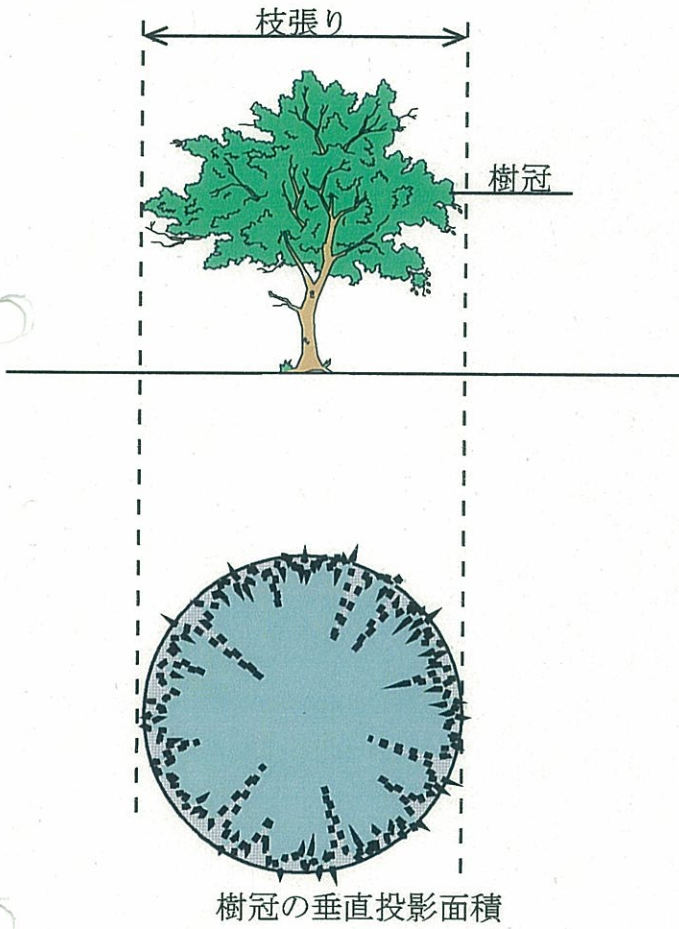
A2(生け垣) = 0.6m² × 40m = 24m²

A2(低木) = 1m² × 8本 = 8m²

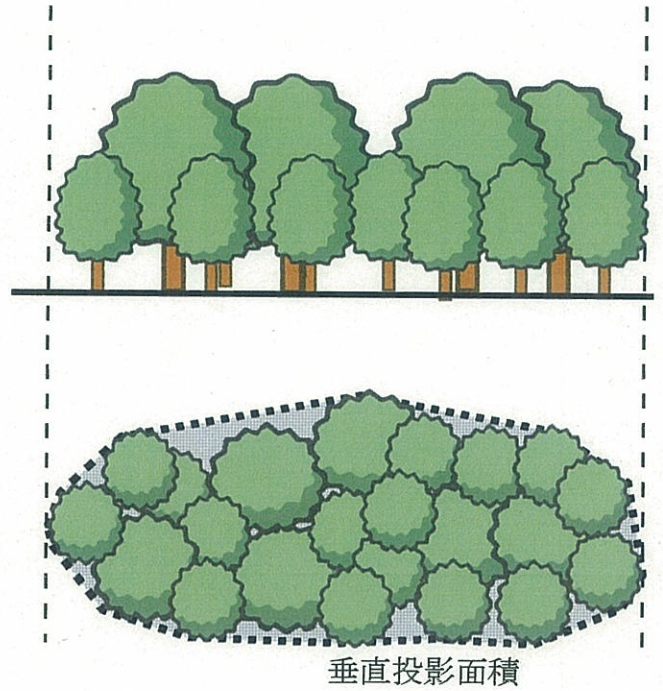
(A1+A2)/A3=(0+24+8)/300
= 0.11 > 0.1 (OK)

緑地面積の算定方法

独立樹木の場合



樹林の場合



群植の場合

